

NPO 法人岡崎がくどうの会
2023 年度 学童保育指導員研修 レポート
【クラブ】風の子クラブ 【名前】鈴木美幸
【研修名】(児童福祉概論～子どもの権利と生活を守る制度～)

当日の資料を見た時にこれはかなりまずいと思い、研修の予習をした。

日本の子どもの家庭の状況、子どもの権利条約、子どもの福祉に関わった人物などを下調べした。なぜなら研修資料の中にテスト問題があり、それが全くできないのは恥ずかしいと思ったからである。

『石井十次』『バンク・ミケルセン』『ヤヌシュ・コルチャック』などは、今まで聞いたことがなく、福祉法について自分が勉強していないことを反省した。

今回の研修を受講することで全てを理解できたわけではないが、子どもが労働力や兵力になることを防いだり、戦災孤児の貧困・非行を減らしたりするために子ども福祉を考え、まずはボランティアから始まったこと、そして現在に至る歴史的背景を学ぶことができた。

しかし、せっかく子どもを守るためにボランティアから始まった施策が、現代においては『絆』という言葉に象徴されるように『孤食・孤育て』と言われてしまったり、自分の力ではどうにもならない現状であったり、家庭内のつながりが希薄であったりと、また新たな問題にも直面している状況も理解できた。

今後、保育に携わる者としては、

『子どもが自ら育つ力を発揮できるのを支える』『母親だけが子育てをするのではない』先生のおっしゃったこの 2 つの言葉を大事にしながら、自身がもっと子ども福祉の勉強をしていかなければならないと思った。